かしこい消費者になるために ご利用ください市消費生活センター

消費生活センターは、商品やサービスについての問い合わせや、相談・苦情などを受け付け、解決のためのお手伝いをする消費者のための窓口です。悪質商法のトラブルの実態など、くらしに役立つ情報を資料やパネルで展示しているほか、専任の消費生活相談員を常時配置し無料で相談に応じています。どうぞお気軽にご利用ください。

商品やサービスの相談・苦情を受け付けています

消費生活に参考となる雑誌やパンフレット、パネルを常時展示しています

食品の鮮度や添加物の有無などのテストを行い、健康な暮らしに役立てます

センターではこんな事業を行っています

生活に関係の深いテーマについて専門の講師を招き、講演会や実習などを行います

生活に密接な物資の価格調査、地域内の消費者情報の提供などを行い、市の消費者行事にも参加します

困った時はまず相談を

平成四年度に消費生活センターへ寄せられた相談件数は千四百二十三件で、年々増加しています。

相談内容のうち半数近くが、契約・解約に関するもので、訪問販売や通信販売などの特殊販売に関する相談が、五百七十六件と四割を占めています。

最近の特徴としては、クレジットに関するトラブルの相談が多くなっています。

◆相談内容別ベスト3
①契約・解約　44%
②販売方法　16%
③品質・機能　14%

◆特殊販売に関する相談の商品・役務別ベスト3
①教養娯楽品　26%
②住居品　18%
③教養娯楽サービス　17%

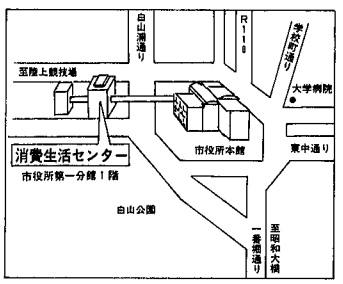
若者と高齢者が狙われている

被害にあった人の傾向としては、社会経験の少ない若者や、高齢者が一部の悪質な業者に狙われていることです。

ふだんから契約は慎重に、そして、もしトラブルにあったら、一人で悩まず消費生活センターにご相談ください。

ふだんから契約は慎重に、もしトラブルにあったら気軽にご相談ください

ひとりで悩まずお気軽にどうぞ



市消費生活センター
第一分館一階
☎228−8100

クレジットトラブル急増 あなたはだいじょうぶ？

消費生活センターへの相談や苦情の中で、最近急増しているのがクレジットのトラブルに関する相談です。

内容をみると、資格講座やエステティックサービスが多く、相談者では二十代前後の若者が目立ちます。

では、なぜクレジットのトラブルが増えているのでしょう。

安易な利用　過剰な与信

「欲しいものがすぐ手に入り、代金の返済は後で済む」というクレジットの魅力につられて、ショッピングやレジャーにとその手軽さゆえか、安易に利用する人が増えてきたためのようです。

その結果、自分の返済能力を超えるような利用をしてしまった、あるいは返済するために「キャッシング」して借金が雪だるま式に膨れ上がったといったトラブルが急増しました。

また業者間の激しい過当競争のなかで、業者の方でも消費者の支払い能力を考慮しない過剰な与信（消費者を信用して借金をひきうけること）を行い、トラブルに拍車をかけています。

クレジットカードは「打ち出の小づち」ではありません

現在、一億九千万枚のカードが発行されているといわれ、大学生の六割がカードを所有しているという調査結果も出ています。

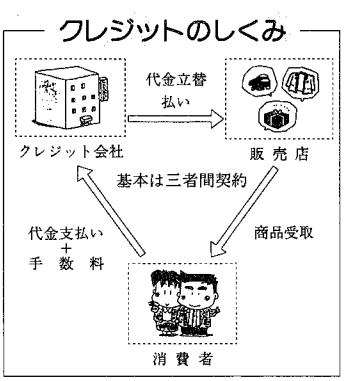
クレジットカードをスマートに利用していると、お金を借りているという意識が薄れてしまいがちですが、クレジットは信用を担保にした借金なのです。

借りたお金は返す。当たり前の事なのに、カードを「打ち出の小づち」と勘違いしている人、以外と身近にいそうです。

クレジットのしくみ

クレジットを上手に利用するには、その仕組みを良く知ることが大切です。

クレジットは多くの場合三者間の契約になっています。



利用上のアドバイス

クレジットを上手に利用して、買った品物（サービス）の代金を、クレジット会社がお店に立て替え払いをしているのです。利用者はクレジット会社にその代金を分割で返します。

その時に代金以外に「手数料」がかかっているので、

①無理なく返せる範囲でクレジット契約を組む
②長期間にわたって受けるサービスは、クレジット契約しない方が無難
③訪問販売での契約は特に慎重に
④名義貸しや保証人の引き受けは、自分が代わって支払う覚悟で
⑤契約書の写しは捨てない